

★ ★ JRKU
★ ★
2023年 第932号
8月25日

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GS/ハイム博多805号
TEL 092-415-4377 FAX4399
発行人 縫 和 彦
編集人 田 中 勇

「島根・丸山知事発言」賛同します！ 「JRという表現をやめてもらわんといかん」

中国・四国地方9県の知事や経済連合会の会長らが一堂に会する中四国サミット（8月23日）が開かれ13のアピール文が採択されました。その中で「地方の鉄道ネットワークの維持・確保」について、島根県丸山達也知事は「**JRという表現をやめてもらわんといかん。大量輸送だけでしかやらないとか黒字路線しかやらんとということでは困る**」国鉄民営化当時と大きく前提条件が変化している。JRの在り方そのものに立ち返り、国民共通の社会基盤という大きな視点で議論するよう求める。など中四国サミットで発言されています。

アピール文に求められて内容として、国が設置する「**鉄道再構築協議会**」に対するJR各会社の姿勢について牽制しているのではないのでしょうか。

JR九州会社も、「**人口が減り、鉄道の利用者が減っていくのが目に見えている。国の方針に踏まえ今後どうしていくか地元と話していきたい**」と自治体との協議を進める考えを明らかにしています。

国鉄改革は公共交通を維持していくことが本来の姿です。JR九州の第一四半期は、177億円の純利益を出しています。赤字企業ではありません。地元自治体は、鉄道再構築協議会に対して「**廃線前提を警戒**」しています。

今後も、地方線廃止の動きに警戒しながら「人にやさしい鉄道」づくりの運動を展開していきます。